

令和7年度取組状況

ものづくり工学科 一般科保健体育 (職)教授(氏名)門多嘉人

取組状況	
教育	<p>①授業の中で、春先のトレーニング中心の授業や冬場の持久走を実施することで、学生たちの体力の向上を図ることができた。</p> <p>②フラッグフットボールの教材では、班別で練習・ゲームを実施することができ、リーダーを中心に運営することができた。また、3年生では同種目において昨年よりリーダーシップを発揮する学生が多くみられた。</p> <p>③4年生の授業において、個人競技においてiPad等を使用して動きを確認しながら、技術の向上を自分たちで行うような指導ができた。</p> <p>④できるだけ学生一人一人に声掛けを行った。技術のコツやルールを知りたいなど、個々の要求に合わせた指導を行うことができた。</p>
研究	<p>①関信越地区高専バスケットボール大会の試合を分析して、リバウンドの重要性とミスの減少が試合の勝敗を分ける要因となることが分かった。</p> <p>②学生たちの体力については、瞬発系種目においては都平均と比較しても大きく差異はない。しかし、以前と同様に持久力系種目において学年進行とともに記録が悪くなっている。持久力の向上がみられる年代のはずなので、今後の授業展開を工夫していきたい。</p>
社会貢献	<p>①近隣中学生を対象とした練習試合を行うことができた。また、荒川区春季中学生大会、荒川区・中央区・台東区選抜バスケットボール大会の運営の補助を行った。</p> <p>②体育施設の開放事業を実施した。管理課と連携をとりながら実施するとともに、安全に施設を使用してもらうための点検などを行った。</p> <p>③東京都バスケットボール協会の総務委員として大会運営の補助を行った。また、指導者講習会における運営のお手伝いをし、バスケットボールの普及発展に寄与した。</p>